

会 議 録

会議の名称	令和5年 第7回 白岡市教育委員会定例会
開催日	令和5年5月18日(木)
開催時間	午前9時30分 開会 ・ 午前11時14分 閉会
開催場所	白岡市役所 4階 特別大会議室
教育長の氏名	横 松 伸 二
出席者(委員等)の氏名	横 松 伸 二 山 崎 美佐江 和 田 玲 子 小野目 如 快 福 永 肇
欠席者(委員)の氏名	
説明員の職・氏名	教育部長 阿 部 千鶴子 教育総務課長 高 垣 秀 樹 参事兼教育指導課長 小 林 大 輔 教育部付副参事 加 藤 靖 生涯学習課長 大久保 秀 樹
事務局職員の職・氏名	教育総務課主査 山田 真規子
点検評価員	
会議次第	1 開会 2 日程第1 会議録署名委員の指名 3 日程第2 委任事務等報告事項 4 日程第3 議事 5 閉会
配布資料	別添のとおり
傍聴者数	1人

1 開 会

横松教育長 出席委員 5 名、定足数に達しており開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

横松教育長 市教育委員会会議規則第 15 条の規定により、山崎美佐江委員及び小野目如快委員を指名した。

3 委任事務等報告事項（教育長報告）

横松教育長 委任事務等報告事項第 1 及び第 2 は個人情報を含む内容であること、また、議案第 23 号については意思決定過程に関する情報のため、非公開で行いたいが無いか。

委 員 (異議なし)

横松教育長 異議なしと認め、報告事項 1 及び 2、議案第 23 号については非公開で行う。また、審議の順番を公開案件からとする。

第 3 P T A 会長等の表彰について

【説 明】 (報告第 3 について、教育部長が概要説明を行い、教育総務課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】 (質疑なし)

【承 認】 (全員異議なく承認)

第 4 白岡市小・中学校区学校運営協議会委員について

【説 明】 (報告第 4 について、教育部長が概要説明を行い、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

A 委員 菁莪小学校と菁莪中学校、南小学校と南中学校は合同の協議会となっているが、篠津小学校と篠津中学校の協議会が分かれている理由は何か。

参事兼教育指導課長 菁莪小学校のすべての児童が菁莪中学校に進学し、南小も同じように南中学校に進学する。篠津小学校の児童は、篠津中学校と白岡中学校に進学する児童に分かれるため、学校と教育委員会で協議し、各校で設置する形となった。

大山小と西小、白岡中の運営協議会は年間 3 回ほどの開催のうち、いくつかは一緒に開催することもある。

【承認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

4 議 事

【上 程】

横松教育長

議案第20号 令和4年度白岡市教育委員会の点検・評価報告書について上程し提案理由の説明を求める。

【説明】

(議案第20号について、教育部長が概要説明を行い、教育総務課長、参事兼教育指導課長及び生涯学習課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

A委員

評価は誰が行っているのか。

教育総務課長

学識経験者の意見を受け、課長が作成し、最終的には部長、教育長が判断している。

B委員

令和4年度は入学準備金の借受者が一人もいなかったのか。広報の方法等伺いたい。また、小学校に入学するための準備金なのか。

教育総務課長

高校と大学に入学するための準備金の貸付けである。

教育部長

ホームページや広報等で広報しているところである。昨年度は相談があったが申請には至らなかった。本当に必要な人に情報が届くよう就学援助を受けている中学生世帯等にお知らせするなど工夫したい。

B委員

高校の入学に当たって中学校で知らせるのは良いことだ。

A委員

「市民の文化・芸術活動の支援」の項目において、達成度はAに対し、評価はBである。なぜか。

教育部長

達成度は、目標に対して達成したかどうかであるので、補助金を交付する目標を達成したので達成度はAである。しかし、学識経験者から、さらに社会教育団体活動の活性化つながるようにしたほうが良いとの意見をいただいたことから、ほかの支援も必要ではないかと考え評価はBとした。

A委員

37項目のうちAが8、Bが27、Cが1であった。民間の感覚でいうとAが少ないと「できていない」ということになる。できたものは堂々とAをつけるべきであるし、できなかったものはCをつけるようにすれば実質的な良い評価になると思う。もっとメリハリがあっ

いのではないか。

教育部長

なかなか100点というわけにはいかない。今年度はAが多くつけられるように取り組んでいく。

横松教育長

行政ではA評価はもう十分やったのでこれ以上のことはできないということになってしまう。毎年、住民サービスを向上させていくという意味でB評価をつけているといった部分もある。

A委員

もっと高い目標を掲げればC評価が増えるのではないか。

横松教育長

目標が高すぎて達成できないというのも難しい。

C委員

学識経験者の意見に、新たな視点を感じた。行政の方もこの意見を読んで、新たな気づきがあったのではないか。課題解決や新たなことに取り組む方への応援メッセージのようにも感じた。

【採 決】

(質疑応答後、全員異議なく決定)

横松教育長

議案第20号 令和4年度白岡市教育委員会の点検・評価報告書について案件のとおり決定する。

【上 程】

横松教育長

議案第21号 白岡市教育委員会表彰規程に基づく被表彰者の決定について上程し提案理由の説明を求める。

【説 明】

(議案第21号について、教育部長が概要説明を行い生涯学習課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

B委員

飯塚さんは委員を何年務められたのか。

生涯学習課長

平成16年4月から平成31年3月までの15年間、その後の法律の改正があり、令和元年から文化財保護審議会委員として4年間務めていただいた。

B委員

様々な書籍を出しておられるようだが、市の図書館に置いてあるのか。

副参事

現在、資料が手元にないので後日お答えする。

横松教育長

県立図書館にあるのではないか。市の図書館に取り寄せもできる。

【採 決】

(質疑応答後、全員異議なく決定)

横松教育長

議案第21号 白岡市教育委員会表彰規程に基づ

く被表彰者の決定について案件のとおり決定する。

【上 程】

横松教育長

議案第 2 2 号 白岡市社会教育委員の委嘱について上程し提案理由の説明を求める。

【説 明】

(議案第 2 2 号について、教育部長が概要説明を行い生涯学習課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

C 委員

学識経験者として選任された方の学識の分野はどのようなものか。また、公募は何人の応募があり、どのような基準で選んだのか。

生涯学習課長

学識経験者の久保木さんは、ペアーズリーダーとして、また野外体験活動等で活躍され、学童保育の指導員の経歴もある。教育委員会の点検評価員も務められた。もう一人の仁科さんは元市職員であり、生涯学習課において生涯学習センターの立ち上げにも携わっている。

公募は広報等で行い、2名の応募があった。レポートを提出していただき、発信力、積極性、企画力、客観性、協働性などの5項目において評価した。

B 委員

社会教育委員は何回ぐらいの会議をしているのか。また、委員が主体的に事業を行うのか、あるいは市の企画等に対し意見を言うものなのか。

教育部長

委員が現在の社会教育の課題を考え、そこをきっかけとして事業を進めてきたこともある。一例を挙げると「町ぐるみん白岡」は、社会教育委員が家庭教育をもっと積極的に展開できないかということで、課題を研究し発案したことがきっかけとなり、発足につながった。また、年3回程度の会議において教育委員会の事業計画に御意見をいただいたり、他市の先進的な取組などの研修会等にも参加していただいている。放課後子ども教室の事業計画についても議論し助言をいただいている。

【採 決】

横松教育長

(質疑応答後、全員異議なく決定)

議案第 2 2 号 白岡市社会教育委員の委嘱について案件のとおり決定する。

5 その他

その他1 令和5年3月中学校卒業者の進路状況について

【説明】 (教育部長及び参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

- C委員 昨今、通信制の高等学校が増えている。当市においても25名が進学した。単独あるいは併設校としての設置もあると思う。どういうところに行っているのか。
- 参事兼教育指導課長 県内の高校へは1名、県外に24名が進学した。男子が5名、女子は20名で具体的な校名は把握していない。
- A委員 通信制に進学する理由は何か。
- 参事兼教育指導課長 不登校の子が選択することが多いと聞いている。
- A委員 家計の事情ということはないか。
- 参事兼教育指導課長 進学の原因をすべては把握していない。
- C委員 高校を卒業するという事は今後の人生において重い意味を持つと思う。ここ数年は、通信制高校の宣伝をよく目にするし、設置を後押しする動きもある。通っていた高校で不登校気味であれば、併設の通信制に移るといった方もいるだろう。不登校の子の進学先として選ばれることは多いだろう。
- A委員 中学校の進路指導の教員は、進学先として通信制を勧めることもあるのか。
- 参事兼教育指導課長 以前に比べ、通信制の情報は学校に入っている。また、ネットなどから本人が情報を得て進学先に選ぶこともあるだろう。進路については、本人、保護者、教員とよく話し合い選択している。
- A委員 県外の高校は情報が良く入らないのではないかと懸念し、質問した。
- C委員 通信制は、不登校の子の進学先としてではなく、Eスポーツなど自分の夢と学業を両立させたい子の進学先としても世間に認知されるようになった。多様性の中で、学業を途切れさせないための一つの選択として、形作られている途中であると考えている。
- 横松教育長 行ける学校から行きたい学校へと変わってきた。通信制高校も増えて、県立でも大宮中央高校がある。子どもが色々と自分で調べていると思う。様々な選択肢があるのは良い

ことだ。

【承認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

(傍聴人退席)

3 委任事務等報告事項 (教育長報告)

第1 区域外就学について

【説明】 (報告第1について、教育部長が概要説明を行い、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】 ~非公開案件につき内容省略~

【承認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

第2 就学すべき学校の指定の変更について

【説明】 (報告第2について、教育部長が概要説明を行い、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】 ~非公開案件につき内容省略~

【承認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

4 議事

【上程】

横松教育長

議案第23号 令和5年度白岡市一般会計補正予算(第4号)(案)に係る意見聴取について上程し提案理由の説明を求める。

【説明】 (議案第23号について、教育部長が概要説明を行い、教育総務課長及び参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

A委員

就学援助の上乗せ支給の5千円の財源はどこか。

教育部長

新型コロナの地方交付金を利用するもので、国からのものである。

C委員

給食費の補助を2段階に分けたのはなぜか。

教育総務課長

一つは食材の高騰に対応するもので、物価上昇分として1食50円を補助する。2つ目は子育て世帯の補助である。

【採決】 (質疑応答後、全員異議なく決定)

横松教育長

議案第23号 令和5年度白岡市一般会計補正予算

(第4号)(案)に係る意見聴取について案件のとおり決定する。

5 閉会

横松教育長

以上をもって閉会を宣言する。

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

教 育 長

議事録署名委員

議事録署名委員